

平成30年度 天王寺区運営方針（素案）について

【概要版】

天王寺区区政会議

平成29年12月14日（木）

区の目標（何をめざすのか）

- みんなの「思い」が区政に反映されているまち
- 未来を担う人材が育成されているまち
～日本一の文教「都市」の実現～
- 「命を守る政策」がしっかりと進められているまち
- 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち
- つながりあい、支え合い、助け合うまち

区の使命（どのような役割を担うのか）

- 区民に対してさまざまな政策を提案し、区政の主役である区民に選択していただく。
- より区民に身近な立場から「ニア・イズ・ベター」を徹底し、地域の特性に応じた施策・事業を展開する。
- 施設の管理運営費の圧縮など徹底した歳出削減を行い、災害対策への予算の重点配分や、地域の未来を担う人材の育成、支援を要する人への福祉の強化を図る。

区運営の基本的な考え方（区長の方針）

- 様々な“区民の声”を積極的に集約し区政運営に反映させる。
⇒【経営課題1】
- 地域特性を活かして未来を担う人材の育成に取り組み、日本一の文教「都市」をめざす。
⇒【経営課題2】
- 支援を要する方々について見守りを推進、交流機会を充実するとともに、健康でいきいきと暮らせるまちをめざし、健康増進の取組を展開する。
⇒【経営課題3】
- 地域の力を結集した「防災力」の向上及び防犯対策の強化に取り組む。
⇒【経営課題4】
- 「天王寺 真田幸村博」を機に動き出した住民主体の取組を基本に、シティ・プロモーションを展開できるよう支援するとともに、情報発信の強化に取り組む。
⇒【経営課題5】
- 地域一体となった地域課題解決、地域活性化に取り組む「地域活動協議会」の運営を支援する。
⇒【経営課題6】

区運営方針（素案）の策定にあたって…

これまでの区政会議で
いただいたご意見
運営方針（素案）に
反映しています！
「☆」マークが、ご意見を
反映した事業です。

29運営方針中間振り返り

中間振り返りで、運営方針に
掲げる主要事業の進捗状況
等を確認、方針を検討します。

素案

PD“L”CAサイクルの徹底

全事業について、区民の声*
(L=Listen)を重視、事業の
方向性（拡大・継続・縮小）の
判断に統一的に活用します。

*区民モニター



区長のいちおし



—つながり合い、備える—
【安全・安心】

区民のみなさんの安心・安全を守り、より身近な地域の“つながり”づくりにつなげます。

《主な取組》 地域での見守り体制の構築
マンション防災の取組を強化 など

—より添い、育む—
【子育て支援・人材育成】

待機児童対策、課題を抱える青少年の支援からグローバル人材育成まで、子育て層の幅広いニーズに応えます。

《主な取組》 待機児童対策の充実
「こどもの居場所」での学び・生活サポート
多文化・国際理解教室(仮称)の開催 など

—楽しみ、ともに歩む—
【まちのにぎわい】

区民のみなさんとともに、みどころいっぱい“天王寺”の魅力を発信、活力あふれるまちをめざします。

《主な取組》 大阪・熊野街道歴史ウォークを開催 など

【経営課題1】 区民の声集約と反映プロセスの強化

○あなたの声をつなげ隊による区民意見の聴取 ☆

区政運営にかかる意見や評価をいただくために、区民の声集約チーム「あなたの声をつなげ隊」のメンバーが、区民に直接、意見聴取を実施

<参考>

- 区政会議意見
- ・つなげ隊活動の効果なのか区役所の雰囲気はよくなった。
 - ・意見反映に係る目標(肯定的意見割合)自体が高すぎるのではないか。
- ⇒【区政編】※に合わせ下方修正

※区政編：市政改革プラン2.0(区政編)のこと。平成29年8月策定

拡大

○“伝わる広報”を意識した情報発信の強化 ☆

区広報紙や広報板、ホームページ、SNSを活用し、ニア・イズ・ベターの視点から、“伝わる広報”を意識し分かりやすく情報発信

- ・広報紙 区民の声の反映状況の特集号
購読促進に向け1ヶ月分(8月号)を全戸配付

<参考>

- 区政会議意見
- 有用なサービスでも知られていないものがある。積極的な情報発信が必要。

【経営課題2】

「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組

○グローバル人材の育成☆

多文化・国際理解教室（仮称）の開催

海外の文化・行動様式に対する理解を深め、文化・価値観の異なる外国人と英語を共通語としてコミュニケーションを図る体験型教室を開催



<参考>区政会議意見 参加人数を増やすなど事業対象・効果を広げる取組が必要。
モニター結果 拡大+継続 76% 縮小9%

新規・重点

○こどもの居場所等における学び・生活サポート（こどもの貧困対策）

居場所設置者との連携により、居場所での学習支援・生活相談に応じるサポーターの活動を支援。課題を抱える児童・生徒の学力向上、精神面のケアにつなげる。

- ・ 学び、生活サポーターが活動する居場所の確保 2か所

<参考>民生委員など地域の意見 区内の子どもが立ち寄って過ごせる居場所が必要ではないか。

【経営課題2】の続き…

○子どもの将来のための投資の促進

子育てスタート応援事業

天王寺区に生まれた子どもを持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして子育てスタート応援券（クーポン券：10,000円分）を交付



（平成30年度新規対象者数（見込み） 804名）

<参考>モニター結果 拡大+継続 80% 縮小6%

拡大

○子育て世帯の支援体制・保育サービスの充実☆

- ①保育コンシェルジュ※を増員し、相談体制を充実。様々な子育て源情報の提供や出張相談、地域の子育て機関との連携を行う。
- ②こども青少年局と連携し、保育所・小規模保育事業所の誘致に注力



<参考>区政会議意見 待機児童を減らす取組をしてほしい。

※保育コンシェルジュ：保護者の相談に応じて保護者ニーズと多様な保育サービスの適切なマッチングや子育てに関する全般的な情報提供及び利用支援を行う専門相談員

【経営課題3】

支援を要する人一人ひとりの命を守り抜く地域福祉

〈高齢者見守り体制の構築〉

①独居高齢者等見守りサポーター事業

地域住民などを中心としたボランティアが独居高齢者、高齢者のみ世帯(介護保険サービスを受けている方等を除く)の家庭訪問を行い、医療・介護等の課題への早期発見・早期対応を図る。



②地域における要援護者の見守りネットワーク強化学業

避難行動要支援者名簿に登録されている要援護者に対し、地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化

〈参考〉区政会議意見 高齢化社会を迎え、高齢者向け対策・対策の取組が必要。
モニター結果 ①②拡大+継続 87% 縮小4%

〈健康のための取組の強化〉

○がん検診周知事業

広報紙の特集に加え、半期毎に受診呼びかけのポスター・チラシを
広報板、医療機関等に掲出、関係団体に配布するなど積極的に周知

〈参考〉区政会議意見 がん検診など有用なサービスでも知られていないものがある。
積極的な情報発信が必要。(再掲)
モニター結果 拡大+継続 87% 縮小5%

【経営課題4】

地域の力を結集した「防災力」向上の取組

＜減災のための取組みの強化（事前の備え）＞

- ①防災出前講座の実施
- ②災害対策情報の発信（区広報紙特集号（8月号）全戸配布）**（再掲）**

<参考>

28モニター結果 ①拡大+継続 59% 縮小5% ②肯定的意見割合（役に立つ） 57%

＜減災のための取組みの強化（被災後の備え）＞

- ①地域資源との新たなつながりを活かした防災の取組☆ **拡大**
 - ・マンション等における自主防災組織構築等を支援する専門スタッフの配置、マンション防災の取組を強化
（マンション防災学習会開催、マンションへの個別支援の強化）
 - ・寺社の協力により一時避難場所を拡充 など

②防災拠点の充実

避難所の備蓄品を充実、福祉避難所を追加指定

③災害時に支援を要する方への支援体制を構築

地域ごとに体制を構築、個別プランを更新



（マンション向け出前講座）

<参考>

区政会議意見 ①マンション同士で、防災活動の成功事例の共有などはよい取組。

モニター結果 ①拡大+継続 79% 縮小5% ②拡大+継続 81% 縮小2%

【経営課題4】の続き…

<安全・安心の確保（犯罪件数減少に向けた取組）>

- ①青色防犯パトロール車による巡回
- ②防犯カメラ設置状況の周知☆（平成29年度末累計：100台設置見込）
（参考）平成30年度 街頭犯罪対策として設置予算を確保（5台分）



<参考>

区政会議意見 ②他区より取組が進んでいる。引き続き設置に取り組んでほしい。
モニター結果 ①拡大+継続 88% 縮小2% ②拡大+継続 88% 縮小1%

<安全・安心の確保（迷惑駐輪防止および自転車マナー啓発の取組）>

- ①自転車利用適正化事業「Do!プラン」
 - ・地域等と協働した放置自転車対策啓発活動の実施（ゆめまちロード）
 - ・有償サイクルサポーターの配置
- ②マナー啓発キャンペーン、警察と連携した出前講座の実施
- ③放置自転車の撤去及び駐輪場の増設
 - ・放置自転車の撤去、駅周辺での駐輪場増設の検討



<参考>

区政会議意見 小学校などでマナー向上講習会を警察署と連携してやって欲しい。

【経営課題5】 戦略的なシティ・プロモーションの推進

○天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業

「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」
の実現に向け、各種取組を実施

- ①周辺区と連携し、大阪・熊野街道歴史ウォークを開催 拡大
(周辺区との連携強化、新コースを開拓)
- ②歴史的・文化的資産を活かした地域主体イベントなどへの取組支援
- ③吹奏楽フェスティバルの開催 など

<参考>

参加者満足度 ①北コース92% 南コース98%
モニター結果 ③拡大+継続 78% 縮小8%



(大阪・熊野街道歴史ウォーク)

【経営課題6】

大きな公共を担う活力ある地域社会づくり

○地域コミュニティの活性化☆

これまで培われてきた人と人との「つながり」を礎に、若い世代やマンション住民など、より幅広い人と人とのつながりづくりを支援し、身近な地域の中で生活課題の解決等に取り組むことで、地域コミュニティの活性化を促進します。

(取組例) マンション防災、避難行動要支援者への支援体制構築 など (再掲)

<参考>

区政会議意見 防災に関心のある人が地域の取組に参加しやすくなればよい。
若い世代向けの防災講座などで地域と連携できればと感じる。

○地域活動協議会への支援

- ①地域活動協議会の自律的な運営・活動を促進し、地域コミュニティの機能の向上を図るため、地域活動協議会に対し財政的支援を行う。
- ②自律的な地域運営の仕組みづくりを行うため、地域活動協議会に対し、中間支援組織（まちづくりセンター）を活用しながら支援を行う。

<参考>

モニター結果 ①拡大+継続 76% 縮小11%

独自の事業評価 -PD “L” CA サイクル- の徹底

- * 全ての事務事業について、聴取した“区民の声”を、予算や施策の展開に反映させる、天王寺区独自の事業評価
PD “L” CAサイクル(L=Listen^(聴取))を導入（平成26年度～）
- * 「PD “L” CAサイクルに基づく事業の方向性等の判断基準」を策定し、“区民の声”を、事業の方向性（拡大・継続・縮小）の判断に、より統一的、体系的に反映（平成27年度～）

ステップ1

事業を継続する場合、次の要件を満たすことを基本とする。

- 区民モニターによる「事業の方向性」の調査結果
⇒ 「拡大」＋「継続」の割合が、60パーセント以上

ステップ2

ただし、次の要件に該当する場合、廃止又は再構築する。

- 参加者（利用者）アンケートによる「満足度」調査結果
⇒ 「肯定的意見」の割合が、60パーセント未満

30年度運営方針策定のスケジュール

平成29年12月14日

第2回区政会議で素案を議論



平成30年1月下旬

運営方針（案）公表予定



4月上旬

運営方針の確定・公表



30年度も頑張ります。
ありがとうございました。

—MEMO—